



萬運輸/ヒューマンリソース部次長代理

平山摩利王氏

【神奈川】萬運輸（東海林 憲彦社長、横浜市鶴見区）でヒューマンリソース部の次長代理を務める平山摩利王氏の前職は消防士。人に関わる仕事がしたいという思いから転職を決意。人事関連の仕事を探していたところ萬運輸と出会った。

当時、同社ではISO14001の認証取得に向けて動いている段階だったこともあり、同氏も認証取得に向けたペーパーワークを多くこなした。現場と膝を突き合わせて、仕事の話を聞く経験は大きな糧となった。

現在、同社ではISO14001の認証取得に向けて動いている段階だったこともあり、同氏も認証取得に向けたペーパーワークを多くこなした。現場と膝を突き合わせて、仕事の話を聞く経験は大きな糧となった。

事・労務関連から総務まで幅広い仕事をこなしている。県トラック協会の青年部会にも参加するなど、社外にも活躍の場を広げている。社外でさまざまな人と交流することは視野を広げることに役立つ。同世代の仲間ができたことも収穫の一つだ。

平山氏の願いは、多くの人が楽しんで働けること。「おこがましい言い方だが、人を幸せにしていきたいと語る。安心して仕事ができる環境を築くことに尽力している。

人を幸せにしたい

人事面で大きな課題となっているのは時間だ。昔と今では社会の状況も大きく変化した。子育てひとつとっても、

両親が共働きすることが一般的な現代においては長時間働くことは難しいと考える人が増えている。同氏は「意識と制度の両面から改革が必要」と強調する。意識が追いつかなければ制度は形骸化してしまう。

「職場環境で仕事がつまらなくなる」としてあるじゃないですか」と続ける。従業員のやる気を削いでしまう仕組みや環境は本人にとっても会社にとっても損なこと。「自分にあった仕事を見つけられる社会になっていけば良いのかなど。そのお手伝いができれば」と語る。

（田川侑史）
（写真）平山摩利王氏